

地域ケア会議が果たすべき機能に着目した目的と場面

機能		目的	単位	会議の場面と役割	効果
①	個別課題の解決	向上のために 個別課題解決の支援、ケアマネジメント実践力 ・ <u>支援困難事例の相談・支援から</u>（介護支援専門員が抱える困難事例等） ・ <u>住民や関係機関等からの相談事例から</u>（地域住民や医療機関等の関係機関による支援要請事例等） ・ <u>各市町村の課題に応じて関係者に事例の提供を求める場合</u>（小規模な居宅介護支援事業所、経験の浅い介護支援専門員が担当する事例、新規開設事業所の事例、軽度者の区分変更事例、予防プランの委託事例、障害者自立支援法からの移行事例、小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの利用事例、施設入所待機中の事例、施設入所者の事例）	圏域毎に （個別ケース）	個別会議 （高齢者個人の課題分析と在宅生活の限界点を上げるための支援を検討する）	高齢者個人に対する支援の充実
②	ネットワークの構築	関係機関の相互連携を構築・促進するために			
③	地域課題の発見	その地域に共通する課題を浮き彫りにするために			
④	地域づくり・資源開発	インフォーマルサービス、地域の見守りネットワークを作るために			
⑤	政策形成	地域課題解決に資する政策を形成するために	市全域で	推進会議 （支援策を市全域に普及させる）	高齢者の在宅生活を支える 社会基盤の整備